

# グループ②テーマ「防災の人的ネットワークの構築」

## <問題点>

① コロナ禍で活動の機会が減っている為。

横のつながりが少なくなり、地域住民の防災意識が薄れている。

コロナ禍で活動の機会が減っている。

横のつながりが少ない。

地域住民には防災意識が薄れている。コロナ禍で活動の機会が減っている。

地域住民には防災意識が薄れている。

## <対策>

地域コミュニティで、自主防災会を中心に、住民に防災意識を高めもらう。  
(地域の消防団)

災害発生時に何らかの防災活動が出来るように。

各団体における活動内容について、定期的な連絡をとり、連携を図る。

町内会や消防団など、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

災害発生時に、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

2000人以上の町内会、消防団など、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

小学校、中学校、高校、大学、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

## <具体策>

① 地域ごとに(消防団)市町村や防災無線で、定期的に防災訓練を呼びかける。

② 防災に関わる人々の研修会・訓練を通じて、横のつながりを広げる。

③ 交流を広げる為にライングループやSNSで発信する。

④ 防災に関わる人は、家庭においても、子供や家族に伝える。

関係者への連絡先を把握し、連携を図る。

各団体の役割を明確にし、連携を図る。

訓練会、連絡会、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

各団体の役割を明確にし、連携を図る。

SNS個人連絡先 + 団体連絡先 (LINE)

LINEグループ

防災意識を高める為に、各団体の役割を明確にし、連携を図る。

防災に関わる人々の家庭においても、子供や家族に伝える。

# 【2班】地域の人たちや、他業種の消防・防災関係者などの人的ネットワーク構築

## 問題点

- ・ 横のつながりが希薄
- ・ 地域住民の防災意識の低下

## 具体策

- ・ 地域の防災関係者による合同訓練
- ・ SNS活用による交流

## 将来像

- ・ 地域の消防団、自主防災組織を中心に地域コミュニティ再活性化

# 【2班】地域の人たちや、他業種の消防・防災関係者などの人的ネットワーク構築

## 問題点

### コロナ禍による活動の減少

- 町内会活動等の停滞

### 横のつながりが希薄化

- 各団体の活動内容を把握出来ていない
- 他の市町村との交流希薄

### 地域住民の防災意識の低下

- 地域全体での防災ノウハウ共有不足
- 障がい者向け防災活動の不足

# 【2班】地域の人たちや、他業種の消防・防災関係者などの人的ネットワーク構築

## 地域訓練

(市町村・消防団)

- 地域ごとに防災無線で定期的に防災訓練を呼びかける。

## 合同訓練

(消防団員、防災士、自主防災組織等の消防・防災関係者)

- 防災に係わる人々の(合同)研修・訓練、意見交換の場を開催し、横のつながりを広げる。

## SNS等による交流・発信

(消防団員同士、他業種の消防・防災関係者)

- 消防・防災情報のSNS個人発信に加えて、それを束ね、団体として効果的な発信
- LINEグループ等による情報共有・意見交換

## 家庭内ネットワーク

(防災関係者の家族・子ども)

- 防災現場での経験を家庭でも伝える。子どもに伝える。

## 【2班】地域の人たちや、他業種の消防・防災関係者などの人的ネットワーク構築

### 将来像

地域の消防団や自主防災会等を中心に、地域コミュニティの再活性化を図り、地域住民に対し、防災意識を高めてもらう。